

4. 事業活動収支計算書関係比率

	5年度	評価	比率の意味
人件費比率	78.9%	低い値が良い	人件費の経常収入に占める割合を示す重要な比率である。
人件費依存率	139.1%	低い値が良い	人件費の学生生徒等納付金に対する割合を示し、人件費率及び納付金比率の大小に影響される。 この比率が100%を超えないことが経営上では好ましい。
教育研究経費比率	36.8%	収支均衡を失しない範囲内で高い値が良い	教育研究経費の経常収入に占める割合である。
管理経費比率	9.4%	低い値が良い	管理経費の経常収入に占める割合である。
借入金等利息比率	0.0%	低い値が良い	借入金利息の経常収入に占める割合である。 比率としては低い方が望ましい。
事業活動収支差額比率	-25.1%	高い値が良い	事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面での将来的な余裕につながるものである。
学生生徒等納付金比率	56.8%	高い値が良い	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。事業活動収入のなかで最大の比重を占めており、第三者の意向に左右されることの少ない自己財源で、高水準で安定的に推移していることが望ましい。
寄付金比率	0.3%	高い値が良い	寄付金の事業活動収入に占める割合である。一定水準の寄付金収入が継続して確保されることは経営安定のためには望ましい。
補助金比率	34.0%	高い値が良い	補助金の事業活動収入に占める割合である。全体的に見て第二の収入源泉で必要不可欠なものとなっている。国等の財政事情によって補助金削減等の影響を受けやすく経営に弾力性を失う可能性がある。

5. 事業活動収支計算書関係比率グラフ

